

衣類のお手入れ通信

暑さにうなだれていた頃も過ぎ、冬支度の時期に入ります。植物も同じで、夏の終わりには来春に咲く花芽をつけている木々もあり、冬に耐え春を待つ準備をしています。動物も秋が深まれば、冬眠の準備に入りますよね。大きな自然の中ではみんな同じ。そう思うと生命を愛おしく感じるような、季節の変わり目です。体調に気をつけてくださいね。

【ポケットの用途は、昔と今とではまったく違います】

普段、なにげなく着ている洋服ですが、デザイン、形、ボタンの位置など、深い意味合いがあることをご存知でしょうか。たとえば、ワイシャツの裾部分は緩やかに波打ったデザインになっていますね。これは、17世紀中頃までは下着が存在しなかったため、シャツが下半身を隠す役割をしていた名残なのです。

シャツ類や上着類のボタンの位置は、男性物と女性物とでは左右逆になっています。女性物では、ボタンは向って右側、ボタンホールは左側に付いているのが一般的です。これも中世の名残で、当時、高貴な女性達には必ずメイドたちがついていました。着替えを手伝うメイドたちが、ボタンを右手で外したり、はめたりしやすい構造になっているのです。一方、男性物は女性物とは逆で、ボタンは向って左側、ボタンホールは右側に付いています。これは当時、軍隊の男性たちが上着のボタンとボタンの間の内側に付いているポケットに手を入れる習慣があったからです。この習慣は寒い地方で戦う際、拳銃を撃つ右手の指が凍てつかないように手を温めたことに由来します。通称「ナポレオンポケット」といい、右手を入れやすいように、左前になるようにボタンが付いているのです。日本の軍隊では、ズボンに付いている右側のポケットで手を温めていました。第二次世界大戦の頃までは、ポケットに物を入れる習慣があまりなかったため、ズボンのポケットは右側だけにしか付いていませんでした。

現代では、ポケットは物を入れるためのものとして進化しています。様々なものを入れるため、服の中では最も汚れてしまう部分のひとつです。そこで、家庭で洗濯する際も、ひと手間かけてみましょう。シャツなら胸のポケット、ズボン類なら両側のポケットの部分に洗剤を塗り、揉み洗いしてから全体を洗うと着用する時にサッパリとします。また、乾いたらポケットの部分をアイロンでしっかり伸ばしておくとも履き心地も良くなりますよ。

定休日：日曜日・祝日 営業時間：7時30分～19時

〒496-0901 愛知県愛西市佐屋町新田 1-6 TEL・fax0567-26-9880 <http://105-929.com>

発行者：東郷俊博

愛知県愛西市、弥富市、蟹江町、飛島村、津島市、集配致します。